

令和4年度事業報告

【概況】

鶏卵生産者を取り巻く情勢については、新型コロナウイルス感染症により鶏卵需要が従前のレベルまでには戻っていないこと、ロシアとウクライナの戦況膠着化や円安による飼料等生産資材費の高騰といった経営への影響が続く中、高病原性鳥インフルエンザの未曾有の大量発生やアニマルウェルフェア（以下、AW）への今後の対応等により、鶏卵生産者の経営環境は厳しい状況にある。

第4期鶏卵生産者経営安定対策事業最終年度の令和4年度は、年度当初から堅調であった卵価は、8月後半から年末にかけて上伸を続け、価格差補填事業や成鶏更新・空舎延長事業の発動はなかった。

一方で、生産費の約6割を占める飼料費の高騰・高止まりによる鶏卵生産者の資金繰りへの影響を踏まえ、経営支援の観点から鶏卵生産者経営安定対策事業の第3・4四半期の納付を停止した。また第7期家畜防疫互助基金支援事業で実施した追加積み立ての返戻を早めに融通するなどして令和4年度も生産者の経営面に寄り添った。

また紹介団体会員に推進費を支給するなど道府県養鶏協会と連携し41件の新規会員を得た。

農林水産省において、国際獣疫事務局（OIE）のコードを踏まえ、畜種ごとの「飼養管理等に関する技術的な指針」の策定が進められており、同指針に対して養鶏業界の意見を集約したパブリックコメントを農林水産省に提示し、そのパブリックコメントを踏まえAWに対する協会の基本的な考え方を農林水産省に訴求した。

OIEによる採卵鶏のAWコードは、採択に至らない状況が継続していることから、引き続きOIEの動向も含めた情報収集に努め、行政、消費者、流通関係者との対話を進めた。

令和3年度は消費者の理解が得られるよう「魅力あふれる安全安心の国産鶏卵」というコンセプトで国産鶏卵の優位性を冊子にして対外発信した。令和4年度はこの冊子をわかり易く要約版にして消費者に訴求した。

I 公益目的支出計画に係る実施事業

1. 鶏卵需給動向等の情報提供事業

鶏卵の需給及び価格の安定に資するため、道府県養鶏協会及び地域協議会が行う推進会議、研究大会等の開催の支援等を行った。本協会ホームページ等を活用して、生産者及び消費者等に対し、行政等による鶏卵の需給・価格動向等に関する情報の提供に努めた。また、本協会会員等に対して「日鶏協ニュース」、「日鶏協回覧板」及び「日鶏協速報」により各種情報を提供した。

2. 国産鶏卵に関する普及啓発事業

鶏卵に関する正確な知識の普及・啓発を推進するため、関係団体等と連携し、ウェブサイト等を活用した情報提供を行った。

1 1月5日の「いいたまごの日イベント」開催により、卵料理への理解と興味の向上、正しい知識の周知に努めた。

また、消費者等の理解を更に高めるため作成した、「魅力あふれる安全安心の国産鶏卵」冊子の内容を踏まえ、要約版の作成に取り組んだ。

II 協会の独自事業

1. 鶏卵消費拡大推進事業

鶏卵生産者経営安定対策事業への加入生産者による拠出金により、鶏卵の消費拡大に取り組むことが事業実施主体の義務として規定されていることに基づき、道府県養鶏協会により各地域で開催する講習会・イベント等を通じ、鶏卵の消費拡大に取り組み需給改善を図ることを目的に、対象事業に対し補助を実施した。

2. 鳥インフルエンザ経営再建保険事業

本事業は、高病原性鳥インフルエンザが発生した場合に、当該鶏卵生産者の経営再建を支援するため、生産が休止又は阻害されたことにより生じる喪失利益・経常費用等の一部を保障する保険制度の運営を行うものであり、平成17年度から実施してきた。

令和4年2月開始分から①総支払限度額の引き上げ（10億円⇒12億円）、②経営再建を前提としない迅速な保険金の支払い、③自然災害での損害保険の新設をしたが、令和4年度下半期の鳥インフルエンザ大量発生により、令和4年度は年間支払限度額の12億円を超えて令和5年1月31日に保険期間が終了した。理事会の承認を得て、保険支払金額の合計金額に対する各加入者への支払金額の割合に応じて、12億円を超えた金額を減額し支払いを実施した。

III 国の制度に基づく事業

1. 飼料米生産・利用促進事業

食料自給率の維持向上のため飼料米等の生産拡大を推進する国の方針に基づき、飼料米に関する国の直接支払交付金の算定基礎とするため適用されている農産物検査について、飼料米を利活用した鶏卵の生産拡大に資することを目的に平成26年より登録検査機関として活動を開始し、引き続き全国の農産物検査員による飼料米検査について、活動の支援等を行った。

IV 補助事業

1. 鶏卵生産者経営安定対策事業（農林水産省補助事業）

本事業は、鶏卵生産者の経営安定と鶏卵の需給及び価格の安定に資することを目的に卵価低落時に鶏卵生産者に価格差補填交付金を交付すること及び卵価が大幅に低落した場合に鶏卵の需給調整を図るための事業を実施するものであり、令和4年度の事業規模は、加入生産者659人、契約数量約179万トンであった。

令和2年度から開始された第4期鶏卵生産者経営安定対策事業(以下、「安定対策事業」と称す。)は、毎月の標準取引価格が補填基準価格を下回った場合は、経

営規模に拘わらずその差額の9割を補填（補填基準価格と安定基準価格の差額を上限とする。）することとし、成鶏更新・空舎延長事業については奨励金単価の引き上げにより鶏卵需給の改善のため支援の充実が図られた。

①空舎期間60～90日未満：210円/羽（310円/羽）

②空舎期間90～120日未満：420円/羽（620円/羽）

③食鳥処理場への奨励金：47円/羽

※（ ）内は10万羽未満飼養生産者

さらに国庫補助金を基金として管理できる制度となった。

鶏卵価格差補填事業については、令和4年度は、標準取引価格(月ごと)が補填基準価格(181円/kg)を下回らなかったため、補填の発動はなかった。このように、令和4年度中での補填事業発動とそれに伴う積立金の支出が生じる見込みが小さい状況を踏まえ、令和4年度第3・4四半期の納付の停止、今期末での高卵価月追加積立金の0円への改定による徴収停止、第4期末での無事戻し実施の準備等を行った。

また、第5期安定対策事業が令和5年度4月より開始されることから、国が行う安定対策事業の見直しの検討を踏まえつつ、安定対策事業の業務方法書の改正等の検討を行うとともに、eMAFF(農林水産省共通申請サービス)を経由した安定対策事業電子申請サービスの導入を推進した。

成鶏更新・空舎延長事業については、令和4年度は発動がなかった。

事業参加者の空舎・再導入状況を確認するための現地調査については、前年度の発動分について、特に自家育成における再導入時期について確認を行った。

鶏卵の需給見通しについて、検討委員会（2回開催）にて消費・供給動向につき検討・協議し、また本協会加入生産者へのアンケート調査結果に伴う情報等を踏まえ、「鶏卵の需給見通し」を作成し、2回（9月、3月）にわたり加入生産者等に情報提供を行った。併せて本協会ホームページにも公表した。

2. 家畜防疫互助基金支援事業（農畜産業振興機構補助事業）

第8期（令和3年度～令和5年度）の中間年度として、引き続き新規加入、各種変更等の届け出についての業務を行った。また、第7期において実施した追加積立について、7月に、飼料等資材費高騰に伴う経営環境悪化に対する支援のため、その時点での返戻可能な範囲（約80%）で返戻した。

また、令和4年度は、第7期分にあたる令和2年度発生分16農場及び第8期分の令和3年度発生分9農場について互助金交付額認定委員会に諮り、交付を完了した。

3. 畜産物輸出支援関連

令和4年度は品目団体輸出力強化緊急支援事業の支援メニューに沿って日本畜産物輸出促進協議会からの委託を受け、香港・シンガポールを中心に以下の7つのプロモーション活動・調査を実施した。

1) 香港料理店での日本産プレミアム鶏卵レストランフェア

- 2) 香港でのSNSを活用した日本産鶏卵の消費を促す啓蒙活動
- 3) 香港現地のローカルベーカーとのコラボレーション事業
- 4) 香港での日本産鶏卵に関する動画制作配信
- 5) 香港市場における日本産鶏卵流通実態調査
- 6) シンガポールでの日本産鶏卵を使用した調理デモンストレーション
- 7) 中国における鶏卵市場実態調査

4. 家きん経営災害緊急支援対策事業（農畜産業振興機構補助事業）

令和4年度は、非常用電源の導入については、事業費が約2,713万円、うち補助金が約1,233万円であった。

なお、地震や大雨・大雪等による補助対象はなかった。

V 各種協議会の事務局活動

1. 鶏卵公正取引協議会

当協議会は、消費者庁及び公正取引委員会により認定された「鶏卵の表示に関する公正競争規約」に基づき運営されている。

本協会は当協議会から事務を委託されており、協議会事務局として、通常総会、理事会および会員証紙審査委員会の運営にあたった。

また、公正マークの一般消費者に対する認知・理解促進を図るため2回に分けて公正マーク付きたまごプレゼントキャンペーンを実施し、約2万3千人の応募を得た。令和4年度については、クイズの問題を、賞味期限、抗生物質に関連する内容とし、消費者の現在の認識調査を行った。

また、会員及び会員外の事業者等からの表示に関する相談、助言等の対応を行うとともに、表示に関して留意する点などを日鶏協ニュース及び協議会HPに掲載すること等により情報提供を行い、適正な鶏卵表示の推進に努めた。

2. 中央鶏卵規格取引協議会

当協議会は、昭和46年農林水産省事務次官通達「鶏卵規格取引要綱」により、鶏卵の規格取引を推進するために設置されたものである。

本協会は当協議会から事務を委託されている。

令和4年度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、前年に引き続き「鶏卵規格取引研修会」及び「割卵検査」の開催ができなかった。

研修会中止に伴い、「卵重計量責任者」資格取得を希望される対象者に対し、通信研修会を実施し、14名に通信研修修了証書の発行を行った。

3. 畜産物輸出促進協議会・鶏卵輸出部会

品目団体輸出力強化支援事業として、輸出ターゲット国や新規市場の市場調査・流通実態調査、海外におけるジャパンプランドの確立のためのプロモーション活動等鶏卵輸出部会員全体の輸出力の強化につながる取組みを進めた。また鳥インフルエンザ発生に伴う輸出禁止・輸出再開や輸出先のマーケット情報などの発信を強化した。

さらに海外での日本産たまごの使用をアピールし、消費拡大につなげることを目的にTAMAGO Japan Eggのロゴマークが入った販促用のアクリルプレートを作成し、希望する鶏卵輸出部会会員に配布した。

VI 他団体活動への協力

国際養鶏養豚総合展（I P P S、(公社)中央畜産会が事務局）、(公社)畜産技術協会、(一社)日本食鳥協会、(一社)畜産副産物協会等が実施する事業等に関して委員会等に委員等として参加し、事業運営に協力した。

VII その他の課題

1. 会員の増加及び地方組織との連携

鶏卵生産者及び関係団体等を会員とする全国組織として、本協会事業推進の中核である道府県養鶏協会及び地域協議会と情報共有し、令和4年度も引き続き会員の増強を図ることができた。

具体的には、①鶏卵生産者の資金繰り健全化の観点から、全国5地域の地域協議会と連携し、鶏卵生産者の切実な声を日本養鶏協会を通じて農林水産省に届けることにより鶏卵生産者経営安定対策事業の第3・4四半期の納付停止を実現した。②鳥インフルエンザ問題について、地域協議会と意見交換を行い、その場の要望等は農林水産大臣への要請として結実させた。③飼料価格高騰に起因する経営の悪化とその対策について県養鶏協会と意見交換を行った。

2. 国際競争力の強化

我が国における鶏卵生産の低コスト化の障害となっている資材の内外価格差・法制度上の問題等諸課題への対応を進めることは、養鶏産業の基盤を維持し96%の国内自給率を維持するため重要である。

令和4年度から「畜舎等の建築等及び利用の特例に関する法律」が施行されたが、令和4年度は、同法の対象施設として、畜産業の用に供する保管庫を追加すること、消防法の防火対象物のうち畜舎等について消防用施設等の設置基準に係る規定の整備を行うことのもので農林水産省、消防庁が主催する検討会に積極的に参加し、生産現場の意見を反映させた。

3. 鳥インフルエンザ対策

令和4年10月28日に岡山県を皮切りに発生した高病原性鳥インフルエンザは、全国各地で84事例104農場において発生した。

リスク管理規程に基づき、10月27日に会長を本部長、鳥インフルエンザ問題対策委員長を副本部長とする高病原性鳥インフルエンザ対策本部を立ち上げ、土日祝日を含む24時間対応体制を構築した。

本協会会員に対して、事案の発生の都度、「日鶏協速報」や「日鶏協ニュース」等を通じ各種情報を提供するとともに、高病原性鳥インフルエンザ問題対策委員会を開催し、被災生産者の意見、要望を集約し農林水産大臣、農林水産省幹部に対し要請を行った。

4. アニマルウェルフェアに配慮した飼養管理

国際獣疫事務局（O I E）のAWコードを踏まえ、農林水産省において畜種ごとの「飼養管理等に関する技術的な指針」の策定が進められており、同指針に対して業界の意見を集約したパブリックコメントを農林水産省に提示した。

アニマルウェルフェア特別委員会を開催し、生産者と学識経験者の意見交換を

行い、農林水産省に提示したパブリックコメントを踏まえ、AWに対する協会の基本的な考え方を改めて確認し、その考えを農林水産省に訴求した。

○ I Eによる採卵鶏のAWコードは、採択に至らない状況が継続していることから、引き続き○ I Eの動向も含めた情報収集に努め、行政、消費者、流通関係者との対話を進める。

5. 業界要望の集約と積極的な要請

長期的な視野に立ち安定した鶏卵生産を図るには、生産者自らの努力もさることながら、鶏卵生産の特性を考慮した政策・施策の実現を図ることが重要である。

令和4年度は、飼料価格等生産資材費の高騰、未曾有の鳥インフルエンザの大発生、AWに関する国の指針の策定の動きについて、生産者団体として国に対し積極的に鶏卵産業の実情を訴え、理解と支援を求めた。

飼料価格の高騰に対して、先行き不透明な状況下で飼料価格の高止まりが強く懸念され、他の生産者団体と団結し飼料価格高騰への対策と支援を政治・行政に訴えかけ、鶏卵生産者経営安定対策事業の第3,4四半期の納付停止を実施した。鳥インフルエンザに対して、被災生産者の意見、要望を集約し、農林水産大臣に要請した。AWに関して、国の指針案に対するパブリックコメントを踏まえ、AWに対する協会のスタンスを再確認し、農林水産省に訴求した。

また、令和5年度から新たに始まる第5期鶏卵生産者経営安定対策事業の制度設計の見直しについて、農林水産省との対話を通じて生産者と国・行政との理解を深め、業界内の議論を集約し国・行政に要望した。

【協会の活動】

1. 会員の異動

(1) 会費会員

	期 初	加入等	脱 会	期 末
イ（個人、法人）	650	41	29	662
ロ（道府県協会）	44	0	0	44
ハ（全国団体）	3	0	0	3
ニ（その他の養鶏関係団体）	1	0	0	1
ホ（その他の団体）	3	0	0	3
計	701	41	29	713

(2) 入会預り金会員

	期 初	加入等	脱 会	期 末
イ（経済連・農業協同組合等）	22	0	0	22
ロ（都道府県）	47	0	0	47
ハ（(独) 農畜産業振興機構）	1	0	0	1
ニ（その他の団体）	3	0	0	3
計	73	0	0	73

(注) 入会預り金会員の名簿及び入会預り金額は別表（P26～27）のとおりである。

2. 総会

定時総会

令和4年6月29日 東京都千代田区大手町1-7-2 大手町サンケイプラザ 3階において第73回定時総会を開催し、次の議案を可決した。

報告事項

(1) 令和3年度事業報告

(2) 令和4年度事業計画及び収支予算

第1号議案 令和3年度計画書類等に関する件

(公益目的支出計画実施報告を含む。)

第2号議案 令和4年度会費の賦課及び徴収方法に関する件

第3号議案 定款の一部変更（第4条関係）に関する件

第4号議案 理事2名の選任に関する件

3. 理事会

協会事業推進のため、次により理事会を開催した。

第1回

令和4年4月14日 書面理事会

① 鶏卵の価格改定に関するお願い

第2回

令和4年5月9日 書面理事会

- ① 高病原性鳥インフルエンザが発生した加入生産者に係る負担金の返還及び支払準備金の取り崩しについて
- ② 家さん経営災害緊急支援対策事業実施要項の一部改正について

第3回

令和4年5月30日 東京都 馬事畜産会館 2階会議室

(1) 報告事項

- ① 委員会報告（鶏卵生産者経営安定対策事業委員会、審議委員会）
- ② 令和3年度鶏卵価格差補填金の交付状況について
- ③ 令和3年度成鶏更新・空舎延長事業協力金の交付状況について
- ④ 令和2年度及び令和3年度消費拡大推進事業の実績について
- ⑤ 令和4年度鶏卵生産者経営安定対策事業の契約状況について
- ⑥ 今シーズンの鳥インフルエンザ発生状況等について
- ⑦ 預金預入金融機関の信用力モニタリング結果について

(2) 協議事項

- ① 令和3年度事業報告及び計算書類等について
- ② 令和3年度公益目的支出計画実施報告書等の提出について
- ③ 第73回定時総会の招集の決定について
- ④ 定款の一部変更（第4条関係）について
- ⑤ 理事候補者2名について
- ⑥ 令和4年度会費の賦課及び徴収方法について
- ⑦ 令和4年度のAWへの対応方針について（組織編成も含めて）
- ⑧ （公社）中央畜産会理事推薦について
- ⑨ 新規会員紹介にかかる推進費の支払いについて

(3) その他

第4回

令和4年6月10日 東京都 馬事畜産会館 2階会議室

(1) 協議事項

- ① 監事監査報告について

(2) その他

第5回

令和4年6月29日 東京都 大手町サンケイプラザ 3階

(1) 報告事項

- ① 農林水産省「採卵鶏の飼養管理に関する指針（案）」に対するパブリックコメントの提出について
- ② 地域協議会からの要請書受領を踏まえた農林水産省あて要請書の提出について

(2) 協議事項

- ① 第7期家畜防疫互助基金支援事業生産者積立金（追加分）の返戻について

第6回

令和4年9月16日 書面理事会

- ① 成鶏更新・空舎延長事業におけるひな再導入の特例申請について
- ② 新規会員の承認について

第7回

令和4年9月29日 東京都 馬事畜産会館 5階会議室

(1) 協議事項

- ① 令和4年度鶏卵生産者経営安定対策事業に係る積立金の額及び協力金の額の改定について
- ② 令和4年度鶏卵生産者経営安定対策事業に係る第3四半期及び第4四半期の手数料及び拠出金について

第8回

令和4年10月21日 東京都 馬事畜産会館 2階会議室

(1) 報告事項

- ① 委員会報告（鳥インフルエンザ問題対策委員会）
- ② 第5期鶏卵生産者経営安定対策事業及び令和5年予算概算要求について
- ③ 第1回鶏卵の需給見通し検討委員会に関する報告について
- ④ 令和2～4年シーズン発生の鳥インフルエンザ経営再建保険、家畜防疫互助基金支援事業の支払い状況等について
- ⑤ 農林水産省「採卵鶏の飼養管理に関する指針案」に対するパブリックコメントへの対応その他について
- ⑥ 「採卵鶏アニマルウェルフェア調査研究会」の活動等について
- ⑦ 「魅力あふれる安全安心の国産鶏卵」の事業スケジュールについて（その3）
- ⑧ 令和4年度会費納入状況について
- ⑨ 令和4年度代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告
- ⑩ 道府県養鶏協会等とのWeb意見交換会の開催について
- ⑪ 令和4年度各種委員会の開催スケジュールについて（その2）

(2) 協議事項

- ① 令和5年度鳥インフルエンザ経営再建保険の募集について
- ② 廃業した加入生産者に係る負担金の返還・支払準備金の取り崩しについて
- ③ 新規会員の承認について
- ④ へい殺畜等手当金評価額の算定方法見直し提言に向けた調査の実施について

(3) その他

第9回

令和4年11月25日 東京都 馬事畜産会館 5階会議室

(1) 協議事項

- ① 鶏卵生産者経営安定対策事業における押印の取扱いについて
- ② 廃業した加入生産者に対する納付済み負担金返還の取扱いについて
- ③ その他

第10回

令和4年12月16日 東京都 馬事畜産会館 2階会議室

(1) 報告事項

- ① 委員会報告（鶏卵生産者経営安定対策事業委員会、国産鶏卵に関する普及啓発問題検討委員会）
- ② 令和5年度畜産物価格（基準価格）の決定等について
- ③ 健康牛肉骨粉の解禁計画及び鶏用飼料の利活用について
- ④ 第8期家畜防疫互助基金の追加造成について
- ⑤ 第5期鶏卵生産者経営安定対策事業における電子申請の開始について

(2) 協議事項

- ① 第5期鶏卵生産者経営安定対策事業における廃業した加入生産者に対する納付済み積立金・協力金の取扱い方針について
- ② 令和5年度鶏卵生産者経営安定対策事業への応募及び契約締結等のスケジュールについて
- ③ 廃業した加入生産者に係る負担金の返還並びに支払い準備金の取崩しについて
- ④ 鳥インフルエンザ経営再建保険令和4年度の保険金支払について
- ⑤ 新規会員の承認について

(3) その他

第11回

令和5年1月13日 書面理事会

- ① 新規会員の承認について

第12回

令和5年1月27日 東京都 馬事畜産会館 2階会議室

(1) 報告事項

- ① 委員会報告（鶏卵生産者経営安定対策事業委員会、鳥インフルエンザ問題対策委員会）
- ② 第5期鶏卵生産者経営安定対策事業の変更点について
- ③ 令和4年度第2回需給見通しに関する検討委員会の開催について
- ④ 鳥インフルエンザ経営再建保険の令和4年度支払い対象状況並びに令和5年度加入申込み状況について
- ⑤ 鶏糞堆肥の肥料利用促進について

(2) 協議事項

- ① 第5期鶏卵生産者経営安定対策事業への参画について

- ② 令和4年度鶏卵販売実績報告書等の確認調査に係る結果と対応等について
 - ③ 高病原性鳥インフルエンザの対策の方向性について
 - ④ 高卵価月追加積立について
- (3) その他

第13回

令和5年2月22日 東京都 馬事畜産会館 2階会議室

(1) 報告事項

- ① 委員会報告（国産鶏卵に関する普及啓発問題検討委員会、鳥インフルエンザ問題対策委員会、組織改革委員会）
- ② 養鶏生産物及び副産物の輸出促進に関する事業の運営について
- ③ 採卵鶏の飼養管理に関する技術的な指針への最終意見、要望について
- ④ 令和4年度会員の異動と会費の収納状況について
- ⑤ 令和5年度予算案の編成について

(2) 協議事項

- ① 役員選任規程の改定について
- ② 令和5年度役員選任に関する理事会決議事項について
- ③ 高病原性鳥インフルエンザにかかる要請書について
- ④ 令和4年度鳥インフルエンザ経営再建保険の保険金支払方法の変更について
- ⑤ 令和4年度成鶏更新・空舎延長事業の確認調査に係る結果と対応等について
- ⑥ 成鶏更新・空舎延長事業における成鶏の自家処理の位置づけについて（自家レンダーリング処理について）
- ⑦ 令和4年度高卵価月追加積立の徴収停止について
- ⑧ 令和5年度鶏卵生産者経営安定対策事業手数料及び拋出金等の単価について（入会預り金特定資産の取崩しを含む）
- ⑨ 令和5年度入会預り金特定資産・業務管理特定資産の再運用について
- ⑩ 令和5年度役員賠償責任保険の加入について
- ⑪ 新規会員の承認について

第14回

令和5年3月10日 東京都 馬事畜産会館 2階会議室

(1) 報告事項

- ① 委員会報告（組織改革委員会、アニマルウェルフェア特別委員会）
- ② 令和5年度鶏卵生産者経営安定対策事業への参加における配合飼料価格安定制度への継続加入要件化について

(2) 協議事項

- ① 採卵鶏の飼養管理に関する技術的な指針への最終意見、要望について
- ② 役員選任規程の改定について

- ③ 令和5年度役員選任に関する理事会決議事項について
- (3) その他

第15回

令和5年3月30日 東京都 馬事畜産会館 2階会議室

(1) 報告事項

- ① 委員会報告（鶏卵生産者経営安定対策事業委員会、審議委員会、鳥インフルエンザ問題対策委員会、鶏卵需給見通し検討委員会）
- ② 鳥インフルエンザ対応にかかる農林水産省あて要請書提出について
- ③ ウイルス侵入リスク軽減の観点での農場の分割管理について
- ④ 令和4年度品目団体輸出力強化緊急支援事業実施状況について
- ⑤ 令和4年度代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告（後期）

(2) 協議事項

- ① 令和5年度事業計画書及び収支予算書について
- ② 令和5年度における鶏卵生産者経営安定対策事業の積立金・協力金の単価及び高卵価月における生産者積立金の単価について
- ③ 令和5年度における鶏卵生産者経営安定対策事業の別途納付金の単価について
- ④ 第5期鶏卵生産者経営安定対策事業における農業協同組合等による生産者負担金の代行納付について
- ⑤ 令和5年度鶏卵生産者経営安定対策事業業務方法書及び実施細則の一部改正について
- ⑥ 令和5年度鶏卵生産者経営安定対策事業委託要領の一部改正について
- ⑦ 廃業した加入生産者にかかる負担金の返還並びに支払準備金の取り崩しについて
- ⑧ 第8期家畜防疫互助基金支援事業追加積立について
- ⑨ 鳥インフルエンザ経営再建保険令和5年度の保険金支払いについて
- ⑩ 家畜防疫互助基金支援事業業務方法書及び事業委託要領の改正について
- ⑪ 「情報提供体制強化事業」等三事業にかかる実施要領の改定について
- ⑫ 令和5年度情報提供体制強化事業・鶏卵消費拡大推進事業における道府県養鶏協会等への配布基準について

4. 正副会長会議

緊急かつ重要な課題に対処するため、次により正副会長会議を開催した。

第1回

令和4年5月20日 東京都 馬事畜産会館 2階会議室

- (1) 第3回理事会議題について
- (2) その他

第2回

令和4年7月15日 東京都 馬事畜産会館 5階会議室

(1) 第7回理事会議題について

(2) その他

第3回

令和4年10月19日 東京都 馬事畜産会館 5階会議室

(1) 第8回理事会議題について

(2) その他

第4回

令和5年1月26日 東京都 馬事畜産会館 5階会議室

(1) 第12回理事会議題について

(2) その他

第5回

令和5年2月10日 東京都 馬事畜産会館 5階会議室

(1) 第13回理事会議題について

(2) その他

第6回

令和5年3月27日 東京都 馬事畜産会館 5階会議室

(1) 第15回理事会議題について

(2) その他

5. 監事監査等

令和4年5月20日・5月23日 東京都 馬事畜産会館 2階・5階会議室

令和3年度事業報告及び計算書類等についての監査

6. 審議委員会

鶏卵生産者経営安定対策事業に関する調査審議のため、次により審議委員会を開催した。

第1回

令和4年5月20日 東京都 馬事畜産会館 2階会議室

報告事項

- ① 令和3年度鶏卵価格差補填金の交付状況について
- ② 令和3年度成鶏更新・空舎延長事業協力金の交付状況について
- ③ 令和3年度鶏卵生産者経営安定対策事業の手数料の収支状況及び特定資産の推移について
- ④ 預金預入れ金融機関の信用力モニタリング結果について
- ⑤ 令和4年度鶏卵生産者経営安定対策事業の契約状況について
- ⑥ 令和5年度第5期鶏卵生産者経営安定対策事業の見直し案について
- ⑦ 令和2年度及び令和3年度消費拡大推進事業の実績について

第2回

令和5年2月22日 東京都 馬事畜産会館 2階会議室

(1) 報告事項

- ① 令和4年度業務管理特定資産の推移について
- ② 令和4年度鶏卵生産者経営安定対策事業における無事戻しについて
- ③ 第5期鶏卵生産者経営安定対策事業の概要と今後のスケジュールに

ついて

(2) 協議事項

- ① 令和4年度高卵価月追加積立が発動された場合の対応について
- ② 令和5年度鶏卵生産者経営安定対策事業手数料及び拠出金等の単価について（入会預り金特定資産の取崩しを含む）
- ③ 令和5年度業務管理特定資産の取崩しについて
- ④ 令和5年度入会預り金特定資産・業務管理特定資産の再運用について

第3回

令和5年3月24日 東京都 馬事畜産会館 2階会議室

(1) 報告事項

- ① 令和4年度鶏卵生産者経営安定対策事業における無事戻しについて
- ② 第5期鶏卵生産者経営安定対策事業に係る今後のスケジュールについて

(2) 協議事項

- ① 令和5年度鶏卵生産者経営安定対策事業の収支予算について及び特定資産の推移について
- ② 令和5年度における鶏卵生産者経営安定対策事業の積立金・協力金の単価及び高卵価月における生産者積立金の単価について
- ③ 令和5年度における別途納付金の単価について
- ④ 令和5年度鶏卵生産者経営安定対策事業業務方法書及び実施細則の一部改正について
- ⑤ 令和5年度鶏卵生産者経営安定対策事業業務委託要領の一部改正について
- ⑥ その他

7. 専門委員会

(1) 組織改革委員会

第1回

令和5年2月16日 東京都 馬事畜産会館 2階会議室

協議事項

- 1) 役員選任規程の改定について
- 2) 令和5年度役員選任に関する理事会決議事項について

第2回

令和5年3月2日 東京都 馬事畜産会館 5階会議室

協議事項

- 1) 役員選任規程の改定について
- 2) 令和5年度役員選任に関する理事会決議事項について

(2) 鶏卵生産者経営安定対策事業委員会

第1回

令和4年5月20日 東京都 馬事畜産会館 2階会議室

報告事項

- 1) 令和3年度鶏卵価格差補填金の交付状況について
- 2) 令和3年度成鶏更新・空舎延長事業協力金の交付状況について
- 3) 令和3年度鶏卵生産者経営安定対策事業の手数料の収支状況について
- 4) 預金預け入れ金融機関の信用力モニタリング結果について
- 5) 令和4年度鶏卵生産者経営安定対策事業の契約状況について
- 6) 令和5年度第5期鶏卵生産者経営安定対策事業の見直し案について
- 7) 令和2年度及び令和3年度消費拡大推進事業の実績について

第2回

令和4年11月1日 東京都 馬事畜産会館 2階会議室

報告事項

- 1) 鶏卵生産者経営安定対策事業の基準価格について
- 2) 成鶏更新・空舎延長事業におけるレンタル工場的位置付けについて

協議事項

- 1) 廃業生産者に係る負担金の返還について
- 2) 鶏卵生産者経営安定対策事業における押印の取扱いについて

第3回

令和5年1月20日 東京都 馬事畜産会館 2階会議室

報告事項

- 1) 第5期鶏卵生産者経営安定対策事業の変更点について
- 2) 令和4年度第2回需給見通しに関する検討委員会の開催について

協議事項

- 1) 第5期鶏卵生産者経営安定対策事への参画について
- 2) 令和4年度鶏卵販売実績報告書等の確認調査に係る結果と対応等について
- 3) その他

第4回

令和5年2月22日 東京都 馬事畜産会館 2階会議室

協議事項

- 1) 令和4年度高卵価月追加積立の徴収停止について
- 2) 成鶏更新・空舎延長事業における成鶏の自家処理の位置づけについて（自家レンタル処理について）
- 3) 令和5年度鶏卵生産者経営安定対策事業手数料及び拠出金等の単価について（入会預り金特定資産の取崩しを含む）

第5回

令和5年3月24日 東京都 馬事畜産会館 2階会議室

報告事項

- 1) 令和4年度第2回鶏卵需給見通し検討委員会報告
- 2) 令和4年度鶏卵生産者経営安定対策事業における無事戻しについて
- 3) 第5期鶏卵生産者経営安定対策事業に係る今後のスケジュールについて

協議事項

- 1) 令和5年度鶏卵生産者経営安定対策事業の収支予算について
- 2) 令和5年度における鶏卵生産者経営安定対策事業の積立金・協力金の単価及び高卵価月における生産者積立金の単価について
- 3) 令和5年度における別途納付金の単価について
- 4) 令和5年度鶏卵生産者経営安定対策事業業務方法書及び実施細則の一部改正について
- 5) 令和5年度鶏卵生産者経営安定対策事業業務委託要領の一部改正について

(3) アニマルウェルフェア特別委員会

第1回

令和4年6月3日 東京都 馬事畜産会館 5階会議室

協議事項

- 1) 農林水産省パブリックコメントへの対応について
- 2) (独) 農研機構からの依頼事項について

第2回

令和5年3月9日 東京都 馬事畜産会館 2階会議室

協議事項

- 1) 採卵鶏の飼養管理に関する技術的な指針への最終意見、要望について

(4) 鳥インフルエンザ問題対策委員会

第1回

令和4年10月18日 東京都 馬事畜産会館 5階会議室

報告事項

- 1) 令和3～4年シーズンにおける高病原性鳥インフルエンザの発生に係る疫学調査報告書について
- 2) 令和2～4年シーズン発生鳥インフルエンザ経営再建保険、家畜防疫互助基金支援事業の支払状況等について
- 3) 鳥インフルエンザ発生時の対応態勢について

協議事項

- 1) 令和5年度鳥インフルエンザ経営再建保険の募集について

第2回

令和5年1月26日 東京都 馬事畜産会館 5階会議室

報告事項

- 1) 鳥インフルエンザとワクチンについて
- 2) 被災経験者の防疫措置等の問題意識と知見について
- 3) 制限区域内外の育成鶏等の移動制限とその支援について
- 4) 第8期家畜防疫互助基金の追加造成について
- 5) 鳥インフルエンザ経営再建保険の令和4年度の保険金支払い対象状況並びに令和5年度の加入申込状況について

第3回

令和5年2月16日 東京都 馬事畜産会館 2階会議室

協議事項

- 1) 高病原性鳥インフルエンザに係る要請書について
- 2) 令和4年度鳥インフルエンザ経営再建保険の保険金支払方法の変更について

第4回

令和5年3月24日 東京都 馬事畜産会館 2階会議室

報告事項

- 1) ウイルス侵入リスク軽減の観点での農場の分割管理について

協議事項

- 1) 鳥インフルエンザ経営再建保険令和5年度の保険金支払いについて
- 2) その他

第5回

令和5年3月29日 東京都 馬事畜産会館 5階会議室

報告事項

- 1) 第8期家畜防疫互助基金の追加造成について

協議事項

- 1) 鳥インフルエンザ経営再建保険令和5年度の保険金支払いについて

8. 各種事業

(1) 鶏卵需給動向等の情報提供事業

① 例年は、本会事業推進の中核である道府県養鶏協会及び地域協議会による総会、研究大会、展示会への出展等が行われこれらに対して支援を行っているが、令和4年度については令和3年度に比べ回復の傾向があるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、当初予定の活動を変更したものや、事業中止となった事例もあった。

5地域協議会のうち4地域協議会が事業を実施し、活動に対する支援を行った。その活動内容は以下の通りである。

[開催日]	[会議名]	[開催場所(出席者数)]
北日本養鶏協議会 令和4年6月16日 令和5年1月28日	北日本養鶏協議会役員会 研修会	宮城県仙台市(6名) 東京都千代田区(2名)
関東甲信越地域協議会 令和4年6月8日	研究大会	群馬県渋川市(250名)
中部地域協議会 令和4年7月1日 令和4年11月8日	中部地域協議会総会 研修会	愛知県名古屋市(21名) 滋賀県近江八幡市(24名)
九州地域協議会 令和4年7月26日	九州地域協議会総会	鹿児島県鹿児島市(21名)

4道府県養鶏協会では実施した協会が31協会、未実施が13協会であった。

道府県協会の活動内容としては、研修会・講習会・勉強会の実施が叶ったところがある一方、コロナ禍を踏まえ、パンフレット等を作成し配布する例

やラジオ・新聞広告等を実施する例もあった。

- ② 生産者、消費者等への鶏卵の需給・価格動向等に関する情報の提供
鶏卵の需給、価格動向等の養鶏関連情報を17回FAX等により送付するとともに、「日鶏協ニュース」（12回）、「日鶏協回覧板」（1回）、「日鶏協速報」では高病原性鳥インフルエンザの発生と注意喚起等（44回）各種情報をFAX等により送付（送付先は会員及びその他の希望者で約700ヶ所）した。また、本協会ホームページの鶏卵の需給・価格等に関する統計を毎月、更新等を行った。

（2）国産鶏卵に関する普及啓発事業

① 鶏卵に関する普及・啓発イベントの実施

11月5日（土）に東京・世田谷区の東京栄養食糧専門学校において、「いいたまごの日」イベントを実施した。新型コロナ対策のためリモート開催形式が続いていたが、3年ぶりに全員が一堂に会する従来の形式にて開催した。6組の高校生による「たまごニコニコ料理甲子園」、料理研究家による実演・講演の2部形式により実施した。

② ウェブサイトを通じた養鶏情報の提供

本協会ホームページを通じ、タマゴの安全性や機能性栄養成分を中心に、消費者に知らせたい情報を説明する「魅力あふれる安全安心の国産鶏卵」の暫定版を掲載した。また「鳥インフルエンザ、抗生物質」に関する正しい情報を提供する消費者向け資料のデータを掲載している。また、各種イベントの開催状況を紹介するビデオを掲載した。さらに、鶏卵のコレステロールに対する誤解解消、賞味期限に関する普及啓発記事、卵料理レシピ等を広報した。

③ 鶏卵等に関する相談の受付

鶏卵の品質・取扱い方法・表示内容等について、ウェブサイト・電話を通じた相談を通年受付けており、100件を超える相談を受けている。また、本協会ホームページに「にわとりとたまごの質問コーナー」を設けており、「よくある質問」を掲載している。

④ 鶏卵についての正しい認識を涵養する資料の配布

鶏卵とコレステロールに関する誤解解消、鶏卵を利用するメニューの紹介等を内容とするリーフレットを、全国各地のイベント会場等で配布して活用を促した。

⑤ 業界団体等により連携した消費者への情報提供活動

鶏卵関係企業・団体と協力し、消費者へ鶏卵の正しい知識を普及する取り組みを引き続き実施した。鶏卵に関する正しい情報を掲載するWebの運営や、広告によらずマスコミ等を誘引することによる一般向け広報活動などを実施した。

⑥ 「魅力あふれる安全安心の国産鶏卵」冊子・要約版の作成

鶏卵業界に対する誤った報道に対し、ポジティブな情報を拡散することにより消費者の理解を更に高め、多くの鶏卵に関する理解者を獲得することを実現するため、消費者を中心とした層への鶏卵の正しい知識を提供する冊子の作成を継続した。また、同冊子には詳細な説明内容が掲載されており、一般の消費者が理解しやすい平易な要約版の作成を進めた。

⑦ 国産鶏卵に関する普及啓発問題検討委員会の開催

委員11名により構成される本委員会を、12月及び2月に馬事畜産会館において開催し、いいたまごの日イベント、業界団体等が連携し情報を提供する取り組み、冊子「魅力あふれる安全安心の国産鶏卵」の作成に関する検討など、鶏卵に関する普及啓発活動の企画・立案・実施について協議した。なお、現下の情勢に鑑み、委員はリモート参加を基本とする形式にて実施した。

(3) 鶏卵生産者経営安定対策事業（農林水産省補助事業）

令和4年度鶏卵生産者経営安定対策事業（所要額52億円）の事業実施主体の公募が行われ、本会が引続き応募し事業実施主体となった。

① 鶏卵価格差補填事業

ア) 標準取引価格(月ごと)が補填基準価格(181円/kg)を下回らなかったため、補填の発動はなかった。このように、令和4年度中での補填事業発動とそれに伴う積立金の支出が生じる見込みが小さい状況下、令和4年度第3・4四半期の納付の停止、第4期末での無事戻し実施の準備等を行った。このようななか、2月又は3月の月毎標準取引価格が、発動基準価格301円を超える可能性がある一方、令和4年度中での補填事業発動とそれに伴う積立金の支出が生じる見込みが小さく、補填事業の発動に備えた積立金を追加で確保しなければならない状況にはないことから、高卵価月追加積立金の0円への改定による徴収を停止した。なお、令和4年度の月別標準取引価格及び補填価格は、表1のとおり。

イ) また、積立金の造成額、補填金交付額及び鶏卵生産者経営安定対策基金の状況は、表2のとおり。

表1 月別標準取引価格及び補填価格

(単位：円/kg)

年 月	標準取引価格	補填価格
令和4年 4月	207.06 円	0.000 円
令和4年 5月	215.83 円	0.000 円
令和4年 6月	208.07 円	0.000 円
令和4年 7月	204.57 円	0.000 円
令和4年 8月	207.54 円	0.000 円
令和4年 9月	226.38 円	0.000 円
令和4年 10月	238.45 円	0.000 円
令和4年 11月	255.39 円	0.000 円
令和4年 12月	280.65 円	0.000 円
令和5年 1月	272.16 円	0.000 円
令和5年 2月	324.58 円	0.000 円
令和5年 3月	338.56 円	0.000 円

(注1) 補填基準価格：181円/kg 安定基準価格：159円/kg

表2 積立金の造成額・当期の増減額及び補填金交付額
鶏卵価格差補填事業

(単位：円)

区 分	積立金	基 金	補填金交付額
① 前年度繰越額	6,600,370,133		
② 積立金造成額	4,234,700,950		
③ 補填金交付額(令和3年度分交付額)	1,165,069	166,437	1,331,506
④ 返還額(廃業等)	66,531,999		
⑤ 受取利息	119,035		
⑥ 次年度繰越額 (=①+②-③-④+⑤)	10,767,493,050		

上記の他、令和5年度4月に、⑥より無事戻し額3,005,759,699円が生産者へ返還。

鶏卵生産者経営安定対策基金(国費)の状況

(単位：円)

区 分	基 金
⑦ 年度当初基金額	2,580,087,796
⑧ 国からの交付額	3,168,569,000
⑨ 年度内支出額(令和3年度分補填金交付額)	166,437
⑩ 年度内返金額(令和3年度分奨励金交付金のうち返金額)	1,499,400
⑪ 受取利息	59,602
⑫ 年度末基金残額 (=⑦+⑧-⑨+⑩+⑪)	5,750,049,361

② 成鶏更新・空舎延長事業

令和4年度は、成鶏更新・空舎延長事業の発動はなかった。

ア) 協力金の造成額、奨励金交付額等は、表3のとおり。

表3 協力金の造成額・当期の増減額及び奨励金交付額

(単位：円)

区 分	協力金	基 金	奨励金交付額
① 前年度繰越額	224,725,032		
② 協力金造成額	353,044,927		
③ 奨励金交付額(令和3年度分奨励金交付金のうち返金額)	499,800	1,499,400	1,999,200
④ 返還額(廃業・被災)	4,489,866		

⑤ 受取利息	5,352		
⑥ 年度末残額 (=①+②+③-④+⑤)	573,785,245		

③鶏卵需給見通しの作成

検討委員会を令和4年7月26日及び令和5年2月14日に開催し、また、加入生産者に対するアンケート調査を令和4年9月～11月に実施し、これらを踏まえ「鶏卵の需給見通し」を作成し、令和3年9月及び令和4年3月に加入生産者等に提供するとともに本協会ホームページに公表した。

国庫補助金（鶏卵需給見通しの作成）

(単位：円)

区 分	国庫補助金
年度内支出額	1,550,360

(4) 家畜防疫互助基金支援事業（農畜産業振興機構補助事業）

本事業は、3カ年度（令和3年度～令和5年度）を事業実施期間とし、令和4年度は、第8期の中間年度として実施した。

加えて、第7期中の令和2年度冬季シーズンに発生した高病原性鳥インフルエンザ発生生産者への互助金交付を行った。

ア) 令和4年度は、第8期（令和3年度～令和5年度）の中間年として、引き続き新規加入、各種変更等の届け出についての業務を行った。

イ) 令和4年度中の増加は、新規59件、増羽16件、その他1件（第8期累計1,710件）で、生産者積立金総額は、2110万円（第8期累計16億680万円）であった。

ウ) 令和4年度は、第7期分にあたる令和2年度発生分16農場及び第8期分の令和3年度発生分9農場について互助金交付認定委員会に諮り、交付を完了した。

エ) 第7期において実施した追加積立について、7月に、飼料等資材費高騰に伴う経営環境悪化に対する資金繰り支援のため、その時点での返戻可能な範囲（約80%）で返戻した。総返戻額は、約4億7335万円で、残額は1億1533万円となっている。

家畜防疫互助基金の管理状況（令和5年3月31日現在）

(単位：円)

区 分	生産者積立額	互助金交付額 (積立金分)*	残 額
第7期基金（当初）	1,415,194,286	1,310,976,313	104,217,973
第7期基金（追加）	115,335,206	0	115,335,206
第8期基金	1,606,808,467	421,427,063	1,185,381,404
合計	3,137,337,959	1,732,403,376	1,404,934,583

*:互助金は（独）農畜産業振興機構からの互助金交付額と同額の補助金と併せて交付される。

(5) 畜産物輸出支援関連

令和4年度品目団体輸出力強化緊急支援事業関連業務

ア) 分野・テーマ別のPR活動検討委員会

令和4年度については鶏卵輸出部会役員会にてプロモーション活動の方針、方向性、重点市場を決定したため、分野・テーマ別にPR活動委員会は開催しなかった。

イ) 日本畜産物の品質情報の多言語発信

香港でのSNSを活用した日本産鶏卵の消費を促す啓蒙活動、香港での日本産鶏卵に関する動画を制作、実施した。

ウ) ロゴマークの登録・維持管理

令和4年度は、8社よりロゴマークの使用申請があり、会長決裁を経て使用を許諾した。

エ) セミナー・イベント開催

令和4年9月29日～10月23日の期間限定で、日本産プレミアム鶏卵を使用した2つのオリジナルメニューを開発し香港料理店でレストランフェアを開催、期間内で予定していた数量を完売した。

また、令和4年11月7日シンガポールのキッチンスタジオにて、現地日本人シェフによる調理デモンストレーションを実施、現地飲食店や卸売業者の関係者約30名を招待し、日本産鶏卵を使用した2品の調理を実演。

オ) 新規市場開拓

中国向けの日本産鶏卵の輸出については、平成16年より日本での高病原性鳥インフルエンザの発生により実施されていないが、将来的な日本産鶏卵輸入規制の緩和を見据え、速やかな市場参入に備えた中国における鶏卵市場実態調査を行い取りまとめた。

(6) 飼料米生産・利用促進事業

平成26年に農産物検査法に基づく登録検査機関として本協会が登録され、39名の農産物検査員を擁し検査活動を実施している。

在籍農産物検査員数

(人)

H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
26	35	40	37	37	36	33	33	39

令和4年度は、15県225名の稲作生産者より検査請求があり、453件、約7,290トンにのぼる飼料米の検査が実施された（稲作生産者から受ける検査手数料：1円/kg、農産物検査員への支払手数料：0.7円/kg）。検査重量では、本事業開始以来最大の検査量となった。

(7) 鶏卵消費拡大推進事業

鶏卵の消費拡大を目的とし、道府県養鶏協会により各地域で開催された講習会・イベント等に対する支援を行った。

38道府県養鶏協会 イベント、フェアへの参加及び講習会等
約76回（約1,327,000名）

【トピックス】

- ・全国15府県において「たまニコAGAIN2022～日本縦断チャリリレー」に関するイベントが実施された。
- ・他のトピックス
 - 三重・京都・岡山・宮崎県養鶏協会
：テレビ・ラジオへの出演やCM提供
 - 群馬・香川・福岡県養鶏協会
：情報誌・新聞広告等掲載を実施
 - 岩手・徳島県養鶏協会：老人ホーム・子ども食堂への情報提供ならびに鶏卵寄贈
 - 鳥取県養鶏協会：大学出前授業

(8) 鳥インフルエンザ経営再建保険事業

鳥インフルエンザ経営再建保険については、令和4年2月開始分から、①総支払限度額の引き上げ（10億円⇒12億円）、②経営再建を前提としない迅速な保険金の支払い、③自然災害での損害保険の新設を行った。

令和4年度の保険加入件実態は下表のとおり。

	加入件数	総羽数	総保険料 (円)	支払対象 件数	保険金額(円)
令和4年度	534	105,827,400	365,238,405	32	1,200,000,000
令和5年度	566	111,849,800	387,606,019	4	0
増減	+32	+6,022,400	+22,367,614	▽28	—

令和5年度は4月時点での保険金支払対象件数。

注：表側の令和4年度は令和4年2月1日から令和5年1月31日、令和5年度は令和5年2月1日から令和6年1月31日までの期間である

令和4年度冬季のA I 保険加入者の発生状況

	件数	支払対象羽数	保険金額
令和4年度	32件	2,931千羽	12億円
令和5年度(R5.2月～4月)	4件	—	—

(9) 家きん経営災害緊急支援対策事業（農畜産業振興機構補助事業）

令和4年度は、非常用電源の導入については、1集団3経営体において、事業費が約2,713万円、うち補助金が約1,233万円であった。

令和4年度非常用電源の導入実績

	生産者集団	経営体	台数	事業費	補助金
導入	1	3	4	2,713万円	1,233万円

(10) 関連団体事務受託事業

①鶏卵公正取引協議会

本協会は同協議会の団体会員として加入するとともに、同協議会事務局として、総会、理事会、会員証紙審査委員会の運営にあたった。

【通常総会】

第13回 令和4年6月30日 東京都 馬事畜産会館 会議室

【理事会】

第1回 令和4年5月20日（書面開催）

第2回 令和4年6月30日（書面開催）

【会員証紙審査委員会】

第1回 令和4年5月24日

第2回 令和5年2月16日

【消費者団体との意見交換会】

第1回 令和4年12月6日

【公正マーク付きたまごプレゼントキャンペーン】

第1回 令和4年10月25日～令和4年11月24日

第2回 令和4年12月20日～令和5年1月19日

②中央鶏卵規格取引協議会

鶏卵の規格取引を円滑に推進するため、鶏卵の生産及び流通関係団体（6団体）で構成されている中央鶏卵規格取引協議会の事務局を本協会が受託している。

今年度については、昨年引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、「鶏卵規格取引研修会」及び「割卵検査」の開催ができなかった。

研修会中止に伴い、「卵重計量責任者」資格取得を希望される対象者に対し、通信研修会を実施し、14名に通信研修修了証を発行した。

9. その他

(1) 褒章の授与

道府県養鶏協会が行う鶏卵・鶏肉の品質改善共励会、畜産共進会、品評会、料理コンクール等で優秀な成績を修めた者に対して本協会会長賞を授与した。

(2) 関連団体等への協力

①本協会役職員の、関連団体・団体等の開催する審議会等への派遣

(公社) 中央畜産会	国際養鶏養豚総合展 (IPPS) 幹事
(公社) 畜産技術協会	初生雛鑑別師養成及び記録映像作成事業推進委員
	採卵鶏AW飼養管理指針検討委員会委員
(一社) 日本食鳥協会	食鳥処理加工業技能評価委員

②各種研究会への役職員の派遣

本来、本協会役職員を各県養鶏協会等が開催する研修会等に講師として派遣し、鶏卵、養鶏生産等に関する正しい知識の普及に努めるが、令和4年度においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で研修会等が中止となった。

③各種イベントにおける後援

各県養鶏協会等が開催するイベント等に後援した。

(3) 常勤役職員の異動

(令和5年3月31日現在)

	期 初	任 用	退 任	期 末
理 事	1	0	0	1
職 員	14	7	3	17
計	15	7	3	18